

第 1 回岩見沢市市政改革懇話会 会議録

● 日時、出席者等

| | | | |
|-------|--------------------------------|---------------------------|-----|
| 日 時 | 令和 5 年 8 月 25 日（金） 13:20～16:00 | | |
| 場 所 | 岩見沢市役所 3 階 会議室 3-1、3-2 | | |
| 出席委員 | 委員 阿 部 啓 吉 | （株式会社コミュニティエムはまなす 代表取締役） | |
| | 委員 米内山 定 雄 | （岩見沢市町会連合会 会長） | |
| | 委員 東海林 公 子 | （いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議 代表） | |
| | 委員 干 場 法 美 | （岩見沢市町会連合会 副会長） | |
| 欠席委員 | 委員 鈴 木 聡 士 | （北海学園大学工学部生命工学科 教授） | |
| | 委員 木 村 聡 | （岩見沢商工会議所 副会頭） | |
| 事 務 局 | 企画財政部長 | 小 泉 | 健 |
| | 企画財政部企画室長 | 北 辻 | 覚 |
| | 企画財政部企画室企画調整担当主幹 | 相 澤 | 智 生 |
| | 企画財政部企画室主査 | 森 | 勝 哉 |

● 会議録

| 次 第 | 発 言 者 | 内 容 |
|--------|---------------|--|
| 1.開会 | | |
| 2.挨拶 | | |
| 3.会長選出 | 事務局 | <p>○欠員となっている会長職について、要綱第 4 条に基づき委員の互選で決定することを説明するとともに、委員から自薦他薦等意見について確認しました。</p> <p>○委員から「事務局一任」の発言を受けて、事務局案として阿部委員を会長とする案を提案いたしました。</p> <p>○各委員から承認をいただき、阿部委員の会長就任が決定しました。</p> <p>○会長就任挨拶</p> |
| 4.報告事項 | 事務局 委員 | <p>○会議資料に基づき「令和 5 年度行政評価における内部評価結果について」の概要説明を行いました。</p> <p style="text-align: right;">※会議資料 別紙資料 1 のとおり</p> <p>現状値、昨年値をもとに比較されている成果指標について、コロナによる行動制限等が解除された令和 4 年度以降は、段階的に数値が良くなってきていると思いますが、報道などではコロナ前の水準に戻らないのでは、といった見解を聞くことがありますので、今後はコロナ前の水準と比較することが妥当なのかという視点を持って、分析していくことも必要であると思います。</p> |
| 5.協議事項 | | <p>○会議資料に基づき、「令和 5 年度行政評価における外部評価について」の概要説明を行いました。</p> <p style="text-align: right;">※会議資料 別紙資料 3、資料 4 のとおり</p> |

| 次 第 | 発 言 者 | 内 容 |
|-----|----------|---|
| | 事務局及び担当課 | 【施策1－1 地域防災力の向上】について、事務局及び担当課より、施策評価シートに基づき概要説明。 |
| | 委員 | 成果指標について、避難所の認知度や非常食を常備している家庭の割合がR3調査では現状値には届いていない状況で、理由としてコロナ等もあるかと思いますが、数値としては思っていた以上に低く、懸念される数値であります。これらの要因や対策についてどのように考えていますか。 |
| | 担当課 | 避難所の認知度については、当然 100%を目指して取り組んでいるところですが、なかなか認知度が上がらないのも現状であります。認知度の向上に向けては、地域出前講座や小学校で開催する防災教育のほか、年 2 回の広報誌等を通じた啓発活動に取り組んでいるところであり、こうした取組を地道に実施することで意識を高めていくことが必要であると考えております。 |
| | 委員 | 町会活動に関わる自分といたしましても、昔と異なり町会組織力の低下が防災意識向上の妨げになっている気がしますし、町会によっても熱心に活動されているところもあれば、そうではないところもあり、意識の差を感じております。自らの町会に支援の必要な人がどこに、どれくらいの人数がいて、どのような対応が必要なのかなど、人助けの視点から町会組織で考えていただくことで、防災意識が高められるものと思っております。 |
| | 担当課 | 市は町会連合会と連携し、地域の町会で裾野を広げていくことを重点的に行ってきておりますが、やはり町会によっては温度差があるのは担当する者としても感じているところでもあります。ただ、出前講座の実績を見ましても、令和 2 年度はコロナの影響で落ち込みましたが、その後は開催回数が増えてきていますので、徐々に意識も広がってきていると思っております。今後も取り組みの継続が必要であると認識しております。 |
| | 委員 | <p>一次避難所になっている北村砂浜地区は、避難所になっていますが、万が一の時は砂浜地区自体が冠水してしまうと想定されており、二次避難場所としてどちらを指定されており、そうした事態への備えや対応についてどのように考えているのかお聞きしたい。また、市では福祉避難所を 3 ヶ所設定されていますが、避難所ごとに指定されているのでしょうか。</p> <p>また、北村地区地域再編推進事業について、荒廃地化が懸念される市道隣接の宅地跡地を市へ無償譲渡で受け入れているということですが、宅地に隣接している田畑についても放っておくと雑草地化することが危惧される場所であり、農地は無償譲渡の対象になっているのかをお聞きしたい。</p> |
| | 担当課 | 砂浜地区については、すでに冠水状態が危惧される場合、避難場所として指定されている砂浜会館を指示するのではなく、他の避難所への避難を指示することになりますが、指示にあたっては砂浜地区から避難所までに安全に向かうことができるかや、避難先で安全に受け入れすることができるかなど、当時の状況を判断したうえで、決定することとなります。また、市内には福祉避難所として、福祉村、ケアハウス、ホテルサンプラザの 3 ヶ所を指定しています。福祉避難所は指定避難所で避難生活ができなくなった方を対象に、二次的に受け入れする施設であるため、事前に移動先が決められているのではなく、指定避難所での生活が困難と判断したときに、状況に応じて開設し、そちらの方に移ってもらうという位置づけの避難所となります。 |
| | 担当課 | 北村遊水地に関する農地については、市では農地として使い続けていただき |

| 次 第 | 発 言 者 | 内 容 |
|-----|-------|--|
| | | <p>たいと考えておりますので、荒れ地とならないよう、できる限り近隣の就農されている方に譲渡又は売却することを基本的な方針としており、そのようなケースは市が調整している状況であります。</p> |
| | 委員 | <p>避難行動要支援者の方については、福祉避難所への避難が予め指定されていたり、災害が起きた際に民生委員や町会役員を通じて連絡する仕組みが構築されているのでしょうか。</p> |
| | 担当課 | <p>基本的には指定避難所に避難することとしているので、一度避難所に来てから、その人の状況を鑑みて、ここでの生活が難しいと判断した場合、福祉避難所へ移動していただく形になります。また、民生委員さんや町会役員さんが、事前に避難行動要支援者の所在等を把握はしていますが、福祉避難所に避難指示することまでは想定しておりません。</p> |
| | 委員 | <p>コロナ患者が避難した場合の避難所運営のあり方や対応はどのように考えているのでしょうか。</p> |
| | 担当課 | <p>コロナ禍においては指定避難所とは別に感染症対応避難所を用意しており、陽性者と濃厚接触者に分けて案内している状況です。また陽性と断定できないけれども、症状のある方については、生活スペースやトイレ、動線など一般の避難者とは完全に隔離した形で避難生活を送ってもらうというような形で今、対応を検討しているところです。</p> |
| | 委員 | <p>障害のある方や高齢者の一人暮らしの方など、支援が必要な方へのアプローチはどのようにされているのか。64.4%の組織率で対応できるのでしょうか。</p> |
| | 担当課 | <p>市では避難行動要支援者制度に基づき該当者をリストアップして、避難支援が必要な方たちを把握する作業に取り組んでいます。リストアップした情報を町会長さんや民生委員さんに提供し、有事の際に声掛け等の対応をお願いする仕組みにより制度の運用を進めています。行政の取り組みだけでは組織率のアップを図ることは難しいですし、どうしても対応に限界がありますので、地域のことをよく知っている町会長さんや民生委員さんと連携をとりながらやっていかなければならないと思っています。</p> |
| | 委員 | <p>遊水地の考え方にもつながってきますが、国土交通省では水田を田んぼダムという視点で防災に役立てようとする考え方が、10年前くらいから取り上げられており、実際に市内でも双葉町などで取り組まれています。水田が降った雨を貯める受け皿となり、徐々に下流に水を流し込んでいくことで災害が減っていくという機能であります。これから減災や災害になりにくい体制の構築が重要であると考えますので、ぜひ市の教育活動に盛り込むことや、広く市民に周知する手法についても検討していただきたいと思っております。</p> |
| | 会長 | <p>それでは最後に外部評価結果の確認をさせていただきますが、成果指標及び重点指標に関する評価の変更については皆様いかがでしょうか</p> <p>【成果指標及び重点事業指標の評価変更に関する意見は特になし】</p> |
| | 会長 | <p>外部評価の附帯意見としては、先ほどいわゆる水田を使った水害対策というようなことのご趣旨かなと思うんですけれども、これらの内容を委員意見として付したいと考えます。</p> |

| 次 第 | 発 言 者 | 内 容 |
|-----|--------------|---|
| | 事務局及び 担当課 | 【施策1－3 消防・救急体制の充実】について、事務局及び担当課より、施策評価シートに基づき概要説明。 |
| | 委員 | 消防団員の充足率が年々減少傾向にありますが、今後高めていく方策についてどうお考えでしょうか。 |
| | 担当課 | 消防団員を辞められる理由は、休日に訓練参加という部分で負担が大きくなっていると考えられます。自己都合で退団される方は、実際かなりいる状況になっていまして、確保に向けて検討してまいります。 |
| | 委員 | 消防団の定数については消防条例で定められていると思いますが、いつ現行の定数に定められているのでしょうか。かなり昔から変更していないのであれば、今は70歳を超えても就労している方もいらっしゃるため、社会情勢に見合った定数に変更していくことも必要である。従事されている団員の方にはD評価というのが大変心苦しく感じます。 |
| | 担当課 | 平成25年に条例改正により定数490人に下げた以来、変更はしておらず、直近の消防団員数が416人ということですので、70名以上欠員している状況です。都市部で欠員が多い傾向があり、栗沢・北村は後継者が得やすい傾向にあります。昨年、消防団の会議で定数見直しの議論がありましたが、地域における消火や救助活動への支障等を懸念し安易に減らすことはできないということで、現行の490人のままとしております。引き続き効果的な募集方法を検討していくとともに、適正な定員であるかについても検証してまいりたいと考えております。 |
| | 会長 | それでは最後に外部評価結果の確認をさせていただきますが、成果指標及び重点指標に関する評価の変更については皆様いかがでしょうか |
| | | 【成果指標及び重点事業指標の評価変更に関する意見は特になし】 |
| | 会長 | 外部評価の附帯意見としては、消防団員充足率の引き上げに向けて、引き続き消防団員の確保方策を検討するとともに、現状に合わせた適正な定員数についても検討していく旨、委員意見として付したいと考えます。 |
| | 事務局及び 担当課 | 【施策4－2 学校教育の充実】について、事務局及び担当課より、施策評価シートに基づき概要説明。 |
| | 委員 | 上昇している不登校児童の割合について、その原因は何か。また、いじめなどの要因はどの程度影響しているのか。 |
| | 担当課 | 不登校の要因については、児童生徒本人の不安・無気力によるものが最も多く、小学校で37.5%、中学校で43.2%を占めています。いじめを要因としたものかは断定できませんが、友人関係を要因とする割合が5%程度を占めています。 |
| | 委員 | 全国学力・学習状況調査における学力の評価について、岩見沢市は空知管内ではどの程度なのでしょう。また、体力については低い傾向がみられ心配な点であります。 |

| 次 第 | 発 言 者 | 内 容 |
|-----|-------|---|
| | 担当課 | <p>空知管内では岩見沢市の子どもたちの学力は高い方の部類になります。資料にも平均正答率を記載しておりますが、60%超ということで、全国の水準と比較して、ほとんどのプラスマイナス 5 ポイント以内に岩見沢が入っております。これまでもやや高い傾向で推移をしてきておりましたが、前年度と比較すると下降傾向ということで心配な部分も出てきておりますので、授業づくりに関しては、昔ながらの一般的な講義形式ではなく、子どもが発言をして、それを受け止めて先生方が返していく、「子どもとつくる授業」を学校にお願いしているところです。体力については、特に運動習慣が定着していないことなどが課題として挙げられます。このことについては大きな課題として受け止めており、教育研究所を活用するほか、教育大学の力も借りながら、スポーツの専門家による各学校への出前授業などを継続して進めていきたいと考えております。</p> |
| | 委員 | <p>先日、道内の小学生が熱中症により亡くなる事件が報道されましたが、市内の小中学校においては、統一的な対策を講じていると思われませんが、どのような対応をとっているのでしょうか。</p> |
| | 担当課 | <p>学校では空調設備がすべての普通教室に入っているわけではありませんので、こうした異常気象に直面した際は、大変心配な面があります。実際に保護者からエアコンをつけてほしいという要望もいただいております。莫大な費用もかかりますので、今すぐに整備というわけにはならないため、各学校では定期的な水分補給等の声掛けはもとより、暑くなる時間帯の前に下校させるなどの対応を適宜とっている状況であります。</p> |
| | 委員 | <p>「教えて考えさせる」授業スタイルへ変革して、大きく授業が変わったということで戸惑っている子どもや保護者がいるとも聞いています。まだ、それほど時間が経っていないため、学力向上につながっているかの分析はこれからだと思いますが、教育委員会としては継続していくスタンスと考えてよいのでしょうか。</p> |
| | 担当課 | <p>成果につながっている学校もあれば、つながっていない学校もあるのが現状であります。一つの形に縛ることなく、「子どもとつくる授業」というスタイルに少しずつシフトしていますが、成果が出ている学校は、「教えて考えさせる授業」を継続していただければと考えています。なかなか成果が出ない、先生方の理解を得られない、子どもたちが授業に入り込めないなどの場合は、「子どもたちとつくる授業」により、子どもの声を学校の中でどう生かしていくかなど、柔軟に変化させていく必要があると考えています。「教えて考えさせる」授業スタイルを一つのベースとしながらも、各学校で成果と課題を把握いただいて、違う方向も、進んでいただくことも可能としております。</p> |
| | 会長 | <p>それでは最後に外部評価結果の確認をさせていただきますが、成果指標及び重点指標に関する評価の変更については皆様いかがでしょうか</p> <p>【成果指標及び重点事業指標の評価変更に関する意見は特になし】</p> |
| | 会長 | <p>成果指標の評価については、児童生徒の学力や体力に関して、前年度と比較して下降しているため「1.7 C」の厳しい評価となっております。今後は定量的な評価だけでなく定性的な評価を加えて、現場の先生方の取組の内容や成果が反映されるような評価方法を検討していただく旨、意見として付します。</p> |
| | 事務局及び | <p>【施策 5－7 地域情報化の推進】 について、事務局及び担当課より、施策評</p> |

| 次 第 | 発 言 者 | 内 容 |
|-----|-------|--|
| | 担当課 | <p>価シートに基づき概要説明。</p> |
| | 委員 | <p>分析として、市民満足度が低く出ておりますが、市民の方が情報化に関わる機会がまだ少ないということも理由としてあるのでしょうかけれども、以前報道で見かけたのですが、高齢者の方々が参加するスマートフォン講習会があるということを知ってもらおうと同時に、講師には行政職員や専門家ではなく、中学生や高校生に担ってもらい、教育委員会や学校と連携して取り組んでいただくことで、取組の良さが市内で広まっていくのではと考えます。また、高齢者に使い方を教えることを通じてコミュニケーション能力を高めてもらう機会の創出にもつながってくると考えます。</p> |
| | 委員 | <p>スマート農業については、数年前から先進的に取り組まれ、成果もあげておられると思いますし、市長自ら様々な会議等でお話しされているので、私自身には伝わっているのですが、実際にスマート農業を導入されている農家の方々が人手に頼らずに、どれだけの収量をあげたなど、成果や効果等を発信していただくと、市全体に取組意識が広がり、市民満足度も上がってくるのではないのでしょうか。</p> |
| | 担当課 | <p>スマート農業の取り組みについては、市内農業者の皆さんで ICT 研究会という組織を立ち上げ、当初約 100 名からスタートし、現在では 200 名を超える方が、スマート農業に取り組み、ICT の活用が広がっている状況です。スマート農業の取組は、農業経営の効率化の観点から市内の気象情報やトラクターの位置情報把握するための基盤整備をきっかけとして、現在は無人でトラクターを稼働させ、日中は農家さんが稼働させ、夜間は残っている作業を委託できるサービスを検討しているところであります。取組状況については市のホームページに掲載していますが、もう少しアピールができる機会を増やしていく必要があると考えております。</p> |
| | 委員 | <p>光ファイバー網については、栗沢地区での整備が完了し令和 6 年度から北村全域に整備されるという認識で良いのでしょうか。また、BWAについては、存続し必要なサービスを提供していただけるのでしょうか。</p> |
| | 担当課 | <p>令和 6 年度までに北村地区が整備されます。BWAについては移動しながら通信が利用できるってところでの利点がありますので、農業の盛んな地域では効果を受けられるものと考えております。</p> |
| | 委員 | <p>例えばの話ですが、市役所職員が市外企業等の誘致の話に接する機会があったとして、企業側からのアクションに対し、職員はそれぞれ考え方により、重大性を察して対応する方もいれば、そうではない場合など対応は様々かと思えます。こうした外部からの話について、高い感度を持って重要性を察知し、組織として横の連携を図るなど柔軟に対応していく能力が、これからの時代において、職員に求められてくることと思えます。新しい部署を設けるといってではなく、組織の横のつながりを持って、迅速に対応できる体制づくりをしていくことも必要かと思えます。</p> |
| | 会長 | <p>それでは最後に外部評価結果の確認をさせていただきますが、成果指標及び重点指標に関する評価の変更については皆様いかがでしょうか</p> <p>【成果指標及び重点事業指標の評価変更に関する意見は特になし】</p> |

| 次 第 | 発 言 者 | 内 容 |
|-------|----------------------|---|
| | <p>会長</p> <p>事務局</p> | <p>先ほどご意見にありましたが、5－7の分野に限らず、施策全体に通ずる面がありますが、高い感度を持って重要性を察知し、組織として横の連携を図るなど柔軟に対応していく能力やそれに見合った体制づくりが必要である旨、意見として付したいと考えます。</p> <p>職員のマインドや市役所業務全般に関係することで、去年この場で議論いただいた行政改革の職員力の向上の観点からも、行政評価制度とは別な形で預からせていただき、次回、市長との懇談の場もありますので、そういった機会を活用しながら、お話いただければと思います。全庁的なそういう仕事への取り組み方とかアンテナの立て方とか、そういったところも含め、市役所として考えていきたいと思っています。</p> |
| 6.その他 | 事務局 | ○第3回懇話会の日程調整のご連絡を行いました。 |
| 7.閉会 | 事務局 | 本日の議題については、滞りなく終了しましたので、これをもちまして、令和5年度第1回市政改革懇話会を終了いたします。 |